

◇うちどく 家読しませんか◇ 中学生版

おうちで読書しませんか。色鮮やかな写真集、身の回りのものを使った工作、ちょっと疲れた時にはストレッチなどなど、家で過ごす時にも役立つ本はたくさんあります。この機会に新しいことを始めてみるのもいいですね。まずは1冊手に取ってみませんか。



『朔と新』

いとうみく/著 出版社：講談社

事故で視力を失った兄の朔と、事故の原因をつくってしまった弟の新。

熱中していた長距離走をやめた新に、朔は、自分が挑戦するブラインドマラソンの伴走者になってほしいと頼む。はたして兄弟の絆は再生されるのか？



『ビブリオ・ファンタジア グレーテルの白い小鳥』

斎藤洋/作 森泉岳士/絵 出版社：偕成社

図書館で、アルバイトをしている私のもとには、なぜか相談者からの不思議なお話や体験談が集まってくる。図書館での不思議なお話が収録された短編集「ビブリオ・ファンタジア」の第3巻目です。



ほかにもおすすめあります

- 「カイルのピアノ」高山リョウ/著（岩崎書店）
- 「チュウガクセイのキモチ」あさのあつこ/著（小学館）
- 「ずっとみつめていた」森島いずみ/作（偕成社）
- 「コトノハ町はきょうもヘンテコ」昼田弥子/作（光村図書出版）
- 「It might be an apple」Shinsuke Yoshitake/作（THAME&HUDSON）（「りんごかもしれない」ヨシタケシンスケ/作 ブロンズ新社の英語版）
- 「しろ」芥川龍之介/原作（みらいパブリッシング）
- 「海のプラスチックごみ調べ大事典」保坂直紀/著（旬報社）
- 「知ってた？世界のスポーツルールと歴史」アダム・スキナー/文（徳間書店）
- 「琵琶湖のまわりの昆虫」八尋克郎/著（サンライズ出版）
- 「しくじりから学ぶ13歳からのスマホルール」島袋コウ/著（旬報社）



高島市教育委員会 社会教育課・図書館

高島市子ども読書活動推進計画（第3次計画）では「家読」を推進しています。

読書のまち「高島」
本の楽しみをすべての子どもに



子ども読書活動推進